



「地域の子どもは地域が育てる」 川根高校で講演会

川根高校の未来について考えます



9月2日、川根高校を会場に中高一貫教育を機軸とした母校存続の取り組みを広げようと教育講演会を開きました。(川高同窓会主催)昭和41年の設立以来、500人を超えた生徒数は、現在237人までに激減。「このままでは学校の存続が危ぶまれる。この現状を打破する方策を地域の人たちとともに考えよう」と、中高一貫教育に取り組み成功している大分県立安心院高校PTA会長荒金見治さんを講師に招き、特色ある学校にするための地域の在り方や取り組みについて講演していただきました。

荒金さんは「学校を一度失うと二度と取り戻せない。我が子さえ良ければ良いという考えでは連携中高一貫教育は成功しない。安心院の例が全てではない、川根には川根のやり方でやるべき」と熱弁を奮われ、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

秋の夜長は歌と演奏で楽しめます

茶茗館で「月見コンサート」 かわね四季の会が開催

フォーレなかかわね茶茗館では9月30日「第4回秋の夜長を楽しむ会」が催されました。

“自分たちでできることは自分たちの手で”と出演者もスタッフも地元のボランティアの60人があたり、参加人数は200人と盛会でした。澄み切った夜空に琴・ハーモニカ・ギター・笛、そして地元の赤石太鼓の勇壮な音がこだましました。そのほかにも詩吟・お話などがあり、発表の合間には、同町の特産品である“川根茶”に舌鼓を打ち楽しい夜を過ごしました。

主催した、かわね四季の会(代表・太田起博)は、『この会も第4回となり、定着しつつありうれしく思います。これからも微力ながら元気な町づくりに住民のひとりとして協力していきたい』と話していました。



大盛況のコンサートの様子

動物を愛し保護する気持ちを文章で表現

動物愛護コンクール(作文の部)で中中の生徒3人が表彰されました

動物を愛し保護する気持ちは、全ての命を大切にすることに通じ、豊かな人間性を育てます。

このほど、動物愛護絵画・作文コンクール(主催:(社)県動物保護協会)が行われ、作文の部において中川根中学校の西上帆里さん(2年)、太田はづきさん(2年)、鈴木裕麻さん(3年)の3人が、それぞれ県教育委員会教育長賞、(社)県動物保護協会会長賞、県市長会長賞という素晴らしい成績を収め、表彰されました。

全県下から666点(作文・中学生の部)の応募があり、厳正な審査の結果、今回の受賞に輝いたものです。おめでとうございます。

写真左から太田さん、鈴木さん、西上さん



大型人形専門店

高木人形



- 島田本店 島田市御請76-1 Tel 0547-35-3551
- 掛川総本店 ●藤枝本店 ●浜松本店

広報かわねほんちょうに「広告」しませんか?



本庁企画環境課 広報担当 ☎(56)2221 FAX(56)2235